

文化の森てんえい

令和2年7月10日発行



図書室だより

Vol.50



いつも、文化の森てんえい「図書室」をご利用いただき、ありがとうございます。

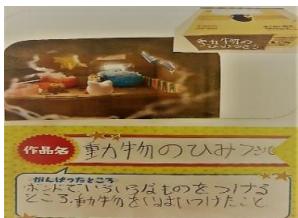
6月21日（日）に文化の森てんえい多目的ホールにて読み聞かせ会が行われました。絵本や紙芝居の朗読に、皆さん真剣に聞き入っていました。毎月1回読み聞かせ会があります。皆さん是非、遊びに来てください。（*^v^）



お知らせ

※7月26日(日)は、館内清掃の為休館となります。

森の美術館



おすすめ!

したい本を紹介いたします!

T・Sさんおすすめ 「雲の果」あさのあつこ著 光文社



作者の時代小説弥勒シリーズの8作目である。江戸の小間物問屋の主清之介は、実の親から暗殺者として育てられ、実の兄を殺めようとした過去を持つ。一方鬼神といわれる同心小暮新次郎と、その手下の岡っ引き、伊佐治、魅力的で、奇妙なキャラクターの取り合わせが、難事件を解いてゆく。お互いを認め合いながらも決して狎れあわず、腹の底は明かさず、非情なまでの扱いをする。武士というものの悲しさを垣間見る思いがする。第1作「弥勒の月」から読むことをお勧めする。

T・Kさんおすすめ 「妻の終活」坂井希久子著 祥伝社



家庭もかえりみず、仕事一筋に生きてきた廉太郎は間もなく七十才。四十二年連れ添った妻が余命1年を宣告されます。長年妻を家政婦扱いしてきた横暴な夫は、嫁いだ娘に、「もう、お母さんを開放してあげて」と言われますが、長い間培ってきた考え方や、態度は、なかなか変られません。妻がいいです。「あなたがこんな出来ない人になったのは、きっと私のせいなんですね。」妻の終活は、自分が亡き後の夫の自立、共感する事の多さに涙しながら、私達夫婦もこの先どのくらい残されているかわからない日々。お互いが一人になった時の事を思い、後悔のないよう生きねばと思い直した本でした。

【新着図書のお知らせ】

■文庫■

『身代わりの空（警視庁犯罪被害者支援課）4上』
『身代わりの空（警視庁犯罪被害者支援課）4下』
『影の守護者（警視庁犯罪被害者支援課）5』
『不信の鎖（警視庁犯罪被害者支援課）6』
『男どき女どき』
『思い出トランプ』
『阿修羅のごとく』
『手放すほど、豊かになる』

堂場瞬一
堂場瞬一
堂場瞬一
堂場瞬一
向田邦子
向田邦子
向田邦子
榎野俊明

■一般・エッセイ・生活■

『ムゲンのアイ 上・下』
『十字架のカルテ』
『本好きの下克上』
『穏やか貴族の休暇のすすめ1.2』
『大一揆』
『カケラ』
『怖い患者』
『線は、僕を描く』
『きたきた捕物帖』
『夏物語』
『花舞う里』
『窓』
『むかしむかしあるところに、死体がありました』
『あの日の交換日記』
『魔女たちは眠りを守る』
『ヴィオラ母さん』
『猫を棄てる』
『老いの器量』
『針と糸』

知念実希人
知念実希人
香月美夜
峰
平谷美樹
湊かなえ
久坂部羊
砥上裕将
宮部みゆき
川上未映子
古内一絵
小手鞠るい
青柳碧人
辻村ゆめ
村山早紀
ヤマザキマリ
村上春樹
下重暁子
小川糸

【新着図書のお知らせ】

■一般・エッセイ・生活■

『自由というサプリ』 いたうせいこう
『「繊細さん」の本』 武田友紀
『選ばれる女におなりなさい』 ラトナ・サリ・デビィ・スカルノ
『40℃超えの日本列島でヒトは生きていけるのか』 永島計
『がんでも歩こう！』 日経メディカル開発
『ハツ江おばあちゃんのフライパン1つで100レシピ』 高木ハツ江
『自分という木の育て方』 石村由起子



■えほん■

『じっちょりんのなつのいちにち』 かとうあじゅ
『パンどろぼう』 柴田ケイコ
『すてきなあまやどり』 バレリー・ゴルバチョフ
『プラスチック星にはなりたくない！』 ニール・レイトン
『たっちゃんのがぐつ』 わかやまけん
『かさどろぼう』 シビル・ウェッタシンハ



★おすすめ本を書いてみませんか！

対象は文化の森てんえい『図書室』にある本です。
投稿文字数は200文字程度
投稿頂いたお礼に**記念品を贈呈**致します。
皆様のご応募、お待ちしております。



